

グリーンスローモビリティとは

グリスロは時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスであり、その車両も含めた総称です

[略] グリスロ：グリーンスローモビリティ

1

Green

電動車を活用した環境に優しいエコな移動サービス

2

Slow

景色を楽しむ、生活道路に向く、重大事故発生を抑制

3

その他

同じ定員の車両と比べて小型、開放感がある、乗降しやすい等

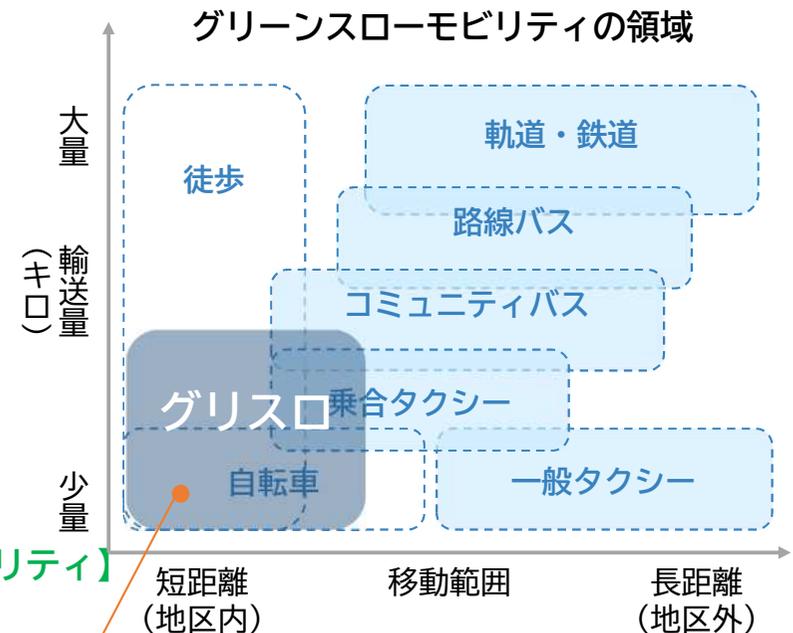
従来の公共交通ネットワークを補完

【従来の公共交通】

- ・はやく
- ・時間通りに
- ・遠くまで

【グリーンスローモビリティ】

- ・ゆっくりと
- ・余裕をもって
- ・近くまで



国土省総合政策局「グリーンスローモビリティ導入と活用のための手引き」より引用

[001405966.pdf](#)

グリーンスローモビリティの特徴

乗り降り楽々

低床・オープン・ルーフが高い



コミュニケーション増加

オープンで低速 → 道ゆく人とも会話



狭い道も楽々

車幅が軽自動車未満 (約130cm)

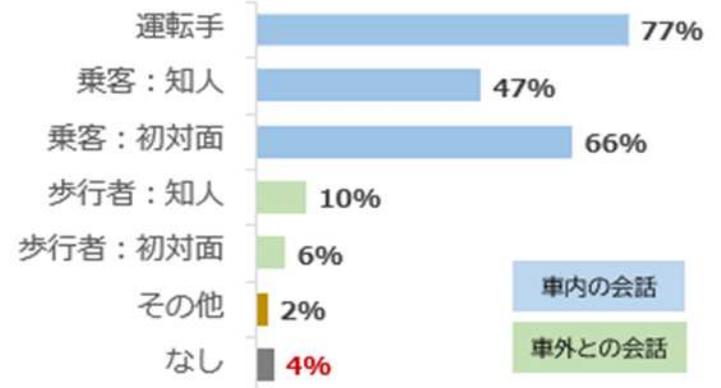


ゆっくり・開放的でリラックス

自然と笑顔・会話もはずむ



乗客の96%が
誰かと会話



※2022年千葉大学予防医学センターとの5か月実証実験
高齢者341人の回答結果

グリーンスローモビリティについて

高齢者の移動手段の確保に係るワークショップの開催

(令和7年2月6、7日)

【ワークショップ開催の目的】

- 高齢化と公共交通機関の運転者不足に直面するさいたま市において、「高齢者の実情」、「地域の実情（買い物や娯楽等）」、「移動手段の確保の手法」など、多角的な視点から意見交換を行う場を設けるとともに、「グリーンスローモビリティ」の乗車体験を通して移動手段の一助としての活用可能性について、検討を行うために実施

【参加者】

- 延べ44名（2日間合計）
- 地域包括支援センター、小売事業者、福祉局（高齢福祉課、いきいき長寿推進課）、区役所（コミュニティ課、高齢介護課）、都市局（交通政策課）

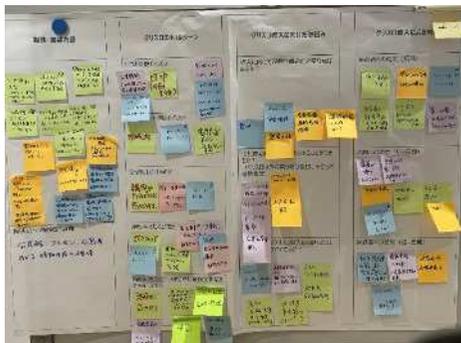
【ワークショップ実施状況】



ディスカッション



乗車体験



ワークシート（活用可能性の検討）



高齢者の移動課題エリアの抽出

【高齢者の主な課題】

- 買い物や通いの場（公民館等）への移動手段がない
- 坂道があり移動が困難
- 荷物を持って移動するのが大変
- クルマ・自転車に乗れない 等（特に多かった声）
- 買い物に行きたい

身近な移動における移動困難に対する意見が多く出された

グリーンスローモビリティ実証実験

(令和7年度)

【概要】

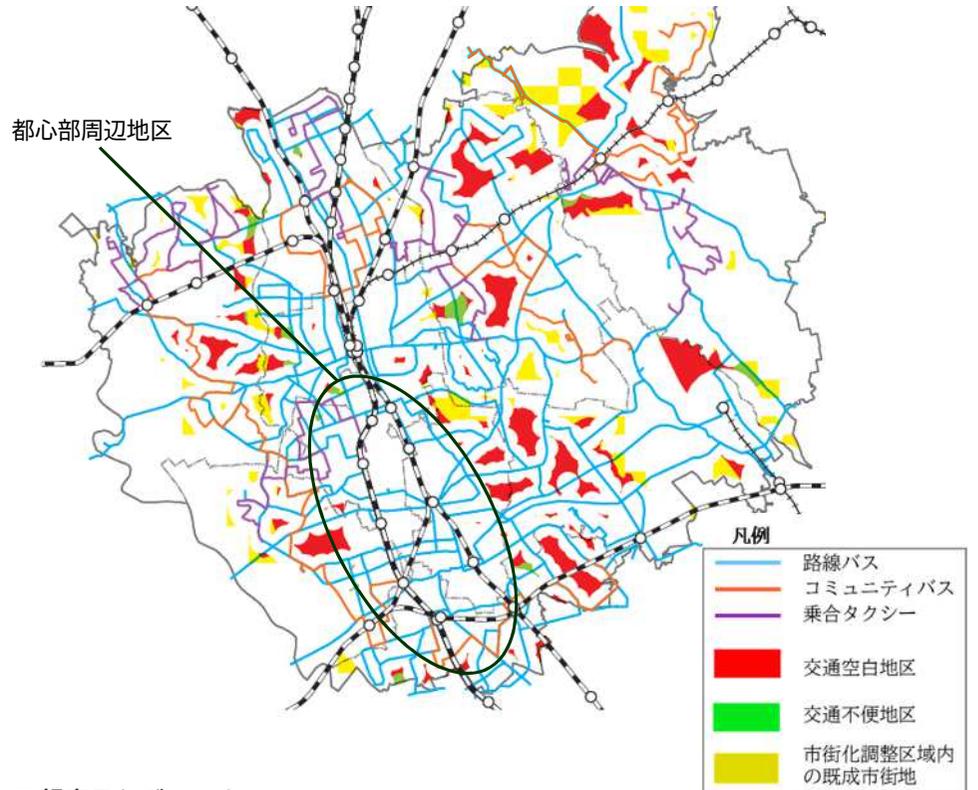
- 令和6年度に実施した高齢者の移動支援に係る調査・検討を基に、エリアや対象者などを限定し、実証実験及び効果検証を行う

（具体的内容）

- グリスロ運行実証実験（関係者調整・運行計画策定・事業広報含む）
- 効果検証（移動頻度やコミュニケーションの頻度など）

【グリーンスローモビリティに期待する効果】

- 日常生活における短距離移動としての活用
- 高齢者等の外出率の増加・習慣化による健康増進及び医療費の削減
- 地域の賑わい創出に繋がるコミュニケーションツール



■想定スケジュール

	令和7年度	令和8年度
グリーンスローモビリティ	関係者調整 運行計画作成 実証運行 (Q3~Q4) 効果検証 広報・周知	実証実験・効果検証 再構築ガイドラインに基づき 他地区への展開検討

- 実証実験期間中は、市内全域に、グリーンスローモビリティの事業を周知
- 令和8年度以降の他地区展開につなげていく